

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 5年 5月11日更新

事務事業名		青少年教育関連事業 (二十歳を祝う会)				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	自治の健康			所属部	教育委員会事務局	課長名	牧野 淳一
	施策	1	市民参画によるまちづくりの推進			所属課	生涯学習課	担当者名	村上 綾香
	施策の柱	1	地域づくり(まちづくり)人材の育成			所属班	生涯学習班	(内線)	1500
予算科目		会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10333	根拠法令		
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	二十歳を祝う節目として、毎年1月に式典を開催している。式典は、対象者で組織する実行委員会を立ち上げ、企画・立案し、当日の運営を役割分担して行う。式典の内容については、その年の実行委員会によって異なるが、主に市長式辞、来賓者挨拶、二十歳の誓いの他にアトラクションや全体での記念撮影が行われることが多い。
【業務の流れ】	①実行委員の選出 (HP, 広報で公募) ②実行委員会の開催 (3回程度) ③記念品の発注 ④来賓等式典関係者へ出席依頼文の発送 ⑤式典 ⑥お礼状及び記念品等の発送
【主な予算費目】	報償費 (手話通訳謝金)、消耗品費 (装花代)、役務費 (案内用切手代、写真送付用切手代)、補助金 (二十歳を祝う会実行委員会)
【意見や要望】	二十歳としての自覚を持ち、貴重な地域の人材として成長してほしいとの声がある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	令和5年1月8日に総合センター「ヴィーブル」メインアリーナで式典を開催し、460名の二十歳が出席した。広報紙の令和4年8月号で、二十歳を祝う会実行委員会の募集をお知らせした。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 令和6年1月7日に総合センター「ヴィーブル」メインアリーナで式典を開催する。 内容については実行委員会で協議し決定する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人 ア 成人式典出席人数 イ	予算の主な増減の理由 人件費の増加による会場設営委託の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	年度中に20歳になる市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 ア 新成人となる市民の人口 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	まちづくり活動に参画する	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 人 ア 成人式典出席人数 イ
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 本市では人口が増加しているものの、若者(15歳から24歳まで)の転出超過しているため、二十歳を祝う会を機会に地域づくり人材としての広報や企画を行う必要がある。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	6年度予定	7年度見込	8年度見込	
① 活動指標	人		0	501	500	460	500	500	500	500	
② 対象指標	人		721	742	720	752	720	720	720	0	
③ 成果指標	人		0	501	500	460	500	500	500	0	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A) 事業費計	一般財源	千円	633	1,513	1,217	1,224	1,265	1,265	1,265	1,265
		(A) 事業費計	千円	633	1,513	1,217	1,224	1,265	1,265	1,265	1,265
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	4	11	10	11	10	10	10	10
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	465	1,380	1,380	1,425	1,380	1,380	1,380	1,380	
	(B) 人件費計	千円	1,833	5,395	5,497	5,423	5,497	5,497	5,497	5,497	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,466	6,908	6,714	6,647	6,762	6,762	6,762	6,762	

事務事業名	青少年教育関連事業（二十歳を祝う会）	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	--------------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 少子高齢化や希望する就職等がなく若者の流出が多くなっているが、今後、本市を活性化させるためには若者の活発な活動が不可欠である。二十歳という節目を迎えることで、郷土への愛着を深め、地域貢献の意識を向上させ、積極的な地域活動を促進させたいが、現実的には難しい。
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 地域の活動に若者が参入していける仕組みづくりが必要。地域の人たちと関わりを持ち、助け合いの精神を形成するということを目標に、本式典において啓発活動を実施する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 若者が参加したいと思う自主講座を企画し、参加してもらうことで地域づくりへの興味をもつきっかけをつくるなど向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 民法改正に伴い20歳から18歳に成人年齢が引き下げられたことで「二十歳を祝う会」から名称は変更されたが、もとの「成人式」は古い歴史を持つわが国独特の事業であり、連携や統合はできない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の経費で事業を行なっているため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 多数の若者に式典出席を求める以上、必要な職員配置は必須であり、これ以上の人件費の削減は困難である。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 対象者である二十歳の、大人としての新しい門出を祝福する事業であり、受益者負担の考え方はなじまないと思われる。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 式典の段取りは担当課が主体となっており、アトラクションについては、実行委員会により企画・運営を行なっていることから、役割分担は適正である。

3 評価結果の総括（CHECK）

少子高齢化により、若者が減少しており、地域に参加する若者がいない状況である。今後は、若者が参加したいと思うような自主講座の企画や二十歳を祝う会の開催など、地域に入っていきようなきっかけづくりを行い、市の魅力を伝える必要がある。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																						